

〈算数科〉 2年

現在の分析

〈算数への関心・意欲・態度〉

- ・教科書やワークテストの発展的な問題にも積極的に取り組む児童が多い。

〈数学的な考え方〉

- ・問題文を正しく読んで立式することや、問題文を作ることができないことがある。

〈数量や図形についての技能〉

- ・計算においては、おおよその児童が理解できている。
- ・点と点を結ぶ直線を引く時に、まっすぐで正しい長さの直線を引けない児童がいる。
- ・mmなど、細かい単位の測定が苦手な児童がいる。

〈数量や図形についての知識・理解〉

- ・数についての知識、理解度は高い。しかし、時刻と時間における知識、理解度が十分でない。
- ・ $1\text{cm}=10\text{mm}$ など、単位の換算についての理解が不十分な児童がいる。

重点課題

〈算数への関心・意欲・態度〉

- ・多くの児童が関心を持って学習に取り組める、活動内容の充実させること。

〈数学的な考え方〉

- ・文章題の内容を正しく読み取れるようにすること。
- ・文章題の内容から、立式できるようにすること。

〈数量や図形についての技能〉

- ・mmなどの細かい長さを測ったりかいたりする技能の向上。

〈数量や図形についての知識・理解〉

- ・時刻と時間の学習の理解を深めること。
- ・時刻や長さ、水のかさなどの理解を深めること。

授業改善策

〈算数への関心・意欲・態度〉

- ・わかる楽しい授業を展開していく。そのために、教材を吟味し、提示方法や使い方の工夫をし、興味関心がもてるような授業をする。

〈数学的な考え方〉

- ・たし算やひき算の場面をよりイメージできるよう、教材や資料の工夫し視覚化する。
- ・自分の考えを絵・図を用いたり、言葉でかいたり説明したりできるような機会をもたせるように設定する。
- ・文章題では、増える、減る、比べるなどの違いを感じ取らせ、「なくなると」「どちらがどれだけ」などのキーワードに着目させ、そこから考え立式できるような指導をする。

〈数量や図形についての技能〉

- ・朝のスキルアップや授業において、計算の反復練習や長さを測ったりかいたりする時間を確保し計算力・技能を高めるようにする。
- ・長さについては、日常生活で、機会あるごとに取り上げ、単位や数値に慣れさせる指導をしていく。

〈数量や図形についての知識・理解〉

- ・時刻や時間については、定着を図るため、日常の機会あるごとに取り上げ、慣れ親しむようにするとともに、家庭にも呼びかける。一斉授業で理解が困難な児童については、時計の模型を使うなどして個別に指導していく。
- ・長さや水のかさなどの量的な単位については、単位量（ 1cm ・ 1mm ・ 1dL ・ 1L など）がどの程度のものなのかを身近なものを使って確認していく。また、測定の活動を重視し、量感を養いながら理解を深められるようにする。